

海底耕耘事業 の継続は

市長／国へ県と一緒に要望する。



吉田幸一郎 議員

性化などを導き、地域振興につなげていきたいと考えている。

議員 2020年は東京オリンピックがあり、来年は、熊本、福岡でラグビーワールドカップが開催される。また、島原ではトンガが合宿をする。

議員 世界遺産や世界ジオパークがありチャンスだと思うが、南島原市に來てもらうような仕掛けPRは、考えられているのか。

市長 世界に誇れる観光素材がある。関係市と協力しながらやって行く。

議員 2020年東京オリンピックの聖火リレーのコースが決定しつつあるようだが、本市は手を挙げているのか。

教育次長 県内の走行ルートは、聖火リレー長崎県実行委員会が組織されており、聖火リレー走行ルートの候補として県に提案をしている。

市長 原城を眺めるコースで、是非、聖火リレーに参加したい。

漁業振興について

議員

海底耕耘事業の現

状と今後は。

農林水産部長

平成20年度～24年度と26年度～30年度で、延べ235平方キロメートルの海底耕耘を行ってらっている。今年度で終了するが、県も効果が認められるということで、今後も行いたいと考えている。国の承認が必要なので31年度は、効果を検証する期間となり、32年度から5カ年間継続出来るよう、県と一緒にやって継続を要望していく。

議員 漁業者から継続の要望が高い。是非、取り組んでいただきたい。

その他の質問
・有商跡地活用について



海底耕耘の様子

鮎帰りの滝の 閉鎖解除を

市長／現在、所有者と協議をしている。



中村哲康 議員

鮎帰りの滝について

議員 閉鎖解除と併せて周辺道路の整備についても検討してもらいたい。

建設部長 駐車場がないので道路にとめてあり、幅員が狭く離合もなかなかできないため、非常に困っていると聞いている。関係者の方と一緒に市道の整備に向けて進めていきたい。

女性や高齢者が活躍できる環境の整備について

議員

市長の所信表明の中に、女性や高齢者の資格取得につながる研修会

や講座の実施とあるが、具体的にどのような講座を実施したのか。

市長 まず、女性が活躍できる環境の整備については、本年3月に策定した、第3次男女共同参画計画に基づき各種事業を実施している。

今年度は、仕事と生活の調和、いわゆるワーク・ライフ・バランスの考え方の普及を目的とした講座を3回実施するようにしている。そのほかに長崎県などが開催する講座などの情報を広報紙、またホームページで発信している。

福祉保健部長 高齢者の資格取得につながる研修会や講座については、シルバー人材センターにおいて、会員の技術水準を高め、就労の機会を増やす取り組みが行われており、市も国と連携して支援している。

議員 障害者にも、こういう機会を与えてもらいたい。

市長 障害者、あるいは健康者ともに考え方には同じだと思う。

建設業の施工プロセスについて

議員 施工プロセスチェックを受けることが負担になり、設計金額の50万円以上の工事に手を出せない業者が多いため、金額を引き上げることができないか。

市長 議員のそのような意見、あるいはご提案、そのような声もあるということ、今後の検討の際の参考にします。

議員 併せて提出する書類が多いため、簡素化・削減してもらいたい。

市長 先ほど言ったことを含めて受け止めておく。



鮎帰りの滝閉鎖状況